

地方の職を支える人材育成 取組状況(PBL授業)

地方の職を支える人材育成 取組状況 PBL授業(2024年度)

ー地域課題や地域資源に着目し展開するサービスラーニングー

項目	内容
連携団体	一般社団法人 フード、道の駅三矢の里あきたかた、横川地区魅力発掘・発信検討委員会、U2事業部管理課、広島電鉄株式会社 地域共創本部 地域交流事業課、廿日市駅通り商店街、NTTアーバンバリューサポート(株)、海田町役場、コイン通り商店街新興組合
実施学部	国際コミュニティ学部
開講目的	地域プロジェクトAは、地域の関わりのある人たちとチームを組み、世界的な視点と地域に根ざした視点の両方から地域社会で必要となる課題解決のプロジェクトや地域社会から提示される具体的な課題解決のプロジェクトに、在学中に学んだ様々な知識や分析力を駆使して取り組む授業。
授業内容	<p>先行事例・文献の調査と地域調査およびその分析を踏まえ、地域の人々との協働により課題解決を図るプロジェクト実践を主体に展開する。</p> <p>課題解決のための手法・工程を自ら立案し、地域の人々とともに実装・実行していく。</p> <p>(1) 具体的な課題に関して、調査対象を選定し、調査方法を計画し、実施</p> <p>(2) 調査結果の分析、分析結果の地域の人々との共有</p> <p>以上では、必要な「場」の設定や実行するための体制作りに関しても自ら立案し、地域の方々や地方自治体と協働し、実践</p> <p>(3) プロジェクトのゴール、アウトカム(目指す地域の状態)の設定</p> <p>(4) プロジェクトのプロトタイプを考案し、社会実験</p> <p>(5) 社会実験結果の考察と、実装に向けての提案(地域コミュニティの再構築や政策展開、そしてソーシャルイノベーション)</p> <p>以上では、地域の人々や地方自治体の方々との協働することによって、新たな観点からの気づきや学びを得るようにする。</p>